



**お母さんが“かっぱえびせん”を
子供に買い与えたいくなる
プロモーション企画**

1. 現状と課題



「かっぱえびせん」。それは40年以上も
日本で愛され続けてきた“お菓子の定番”。
しかし、時代の変化と共に
子供を取り巻く、お菓子環境は激しく変化。

かっぱえびせんの“新たな価値”を発見し、
今までにない“ポジション”を確立する必要がある。

「商品の価値転換」

これまで



これから

実は、かっぱえびせん
をこうすると……
……

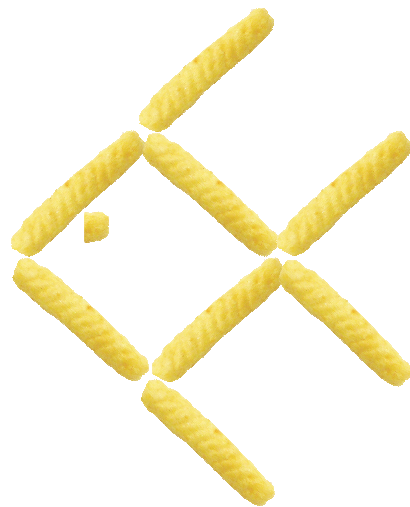
へー！？それって
どういうこと？
……

コミュニケーションするお菓子

かっぱえびせんせい

棒のような、えびのような独特の形を持つ、かっぱえびせん。
そのかっぱえびせんを使って、かっぱえびせんオリジナルの
“かっぱえびせん型図形パズル”を開発。

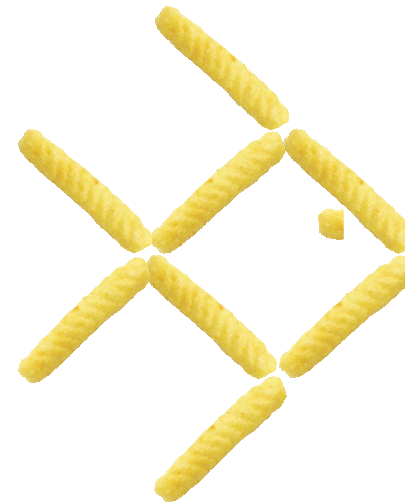
【問題】 かっぱえびせんを3本だけ動かして、魚の向きを変えてみよう！



左向きの魚が・・・



3本動かすだけで・・・



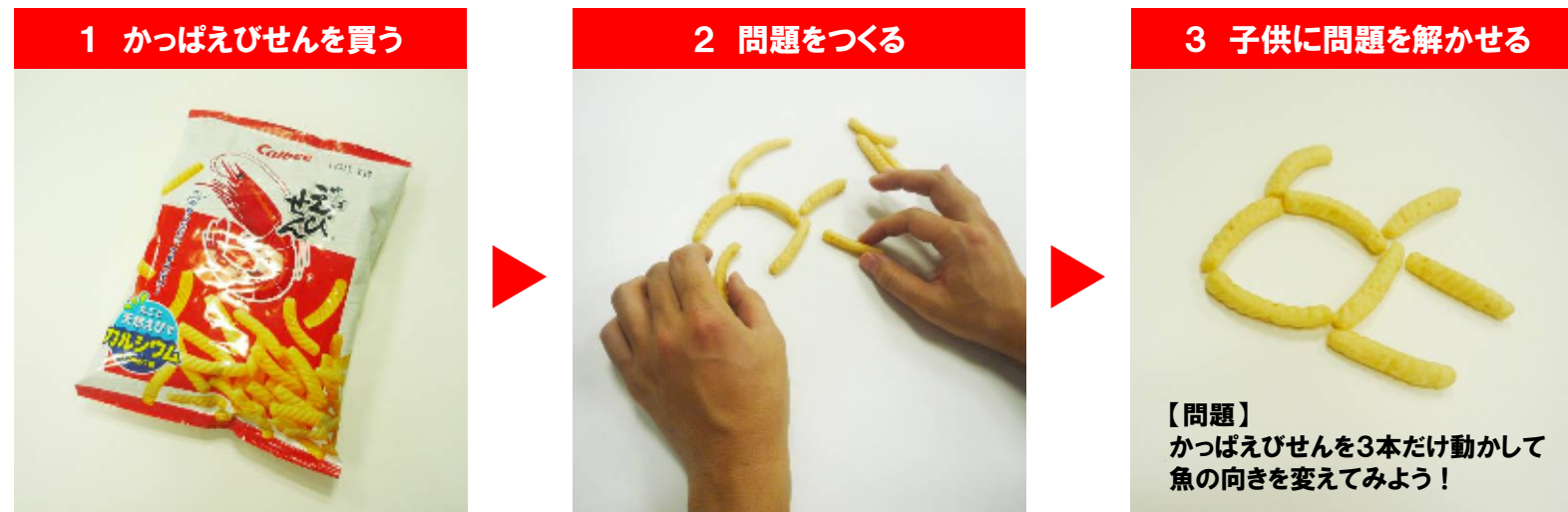
右向きの魚に！！

3-2. 企画概要②

子供たちの「かっぱえびせんせい」となるのは“お母さん”。

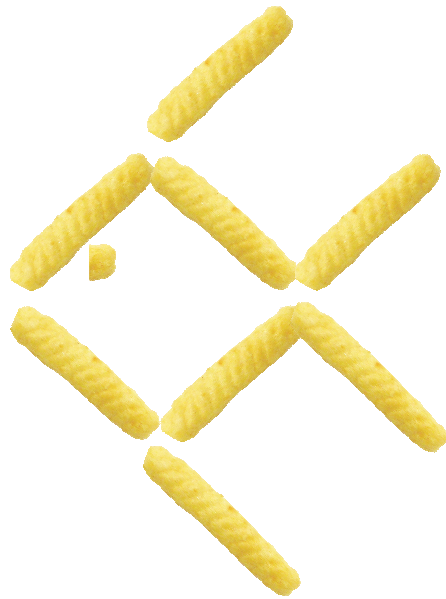


(フローイメージ)

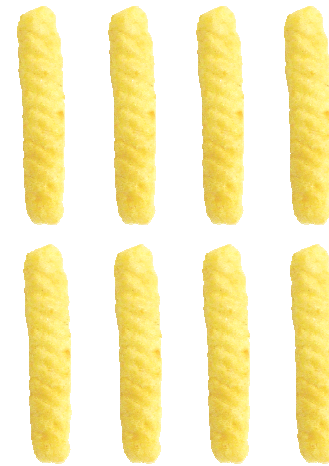


商品そのものをエンターテイメントして活用します。

子供が問題に正解したら・・・
その問題に使った、かっぱえびせんを食べられます！



8本の問題



8本食べられる

“食べるお菓子”としての価値をしっかりと残します。

4. 商品ベタ付け

かっぱえびせんの袋内には「問題シート」が封入。



どんなお母さんでも“かっぱえびせんせい”になることができます。

5. WEBキャンペーン

母と子が考えたオリジナル問題を投稿してもらう、
『かっぱえびせんせい選手権』をWEBにて開催！



PC

モバイル

かっぱえびせんせい選手権

No.1
【問題】3本を動かして…
投稿者:健太&ママ

No.2
【問題】カメから2本取ると…
投稿者:ゆーた、めぐみママ

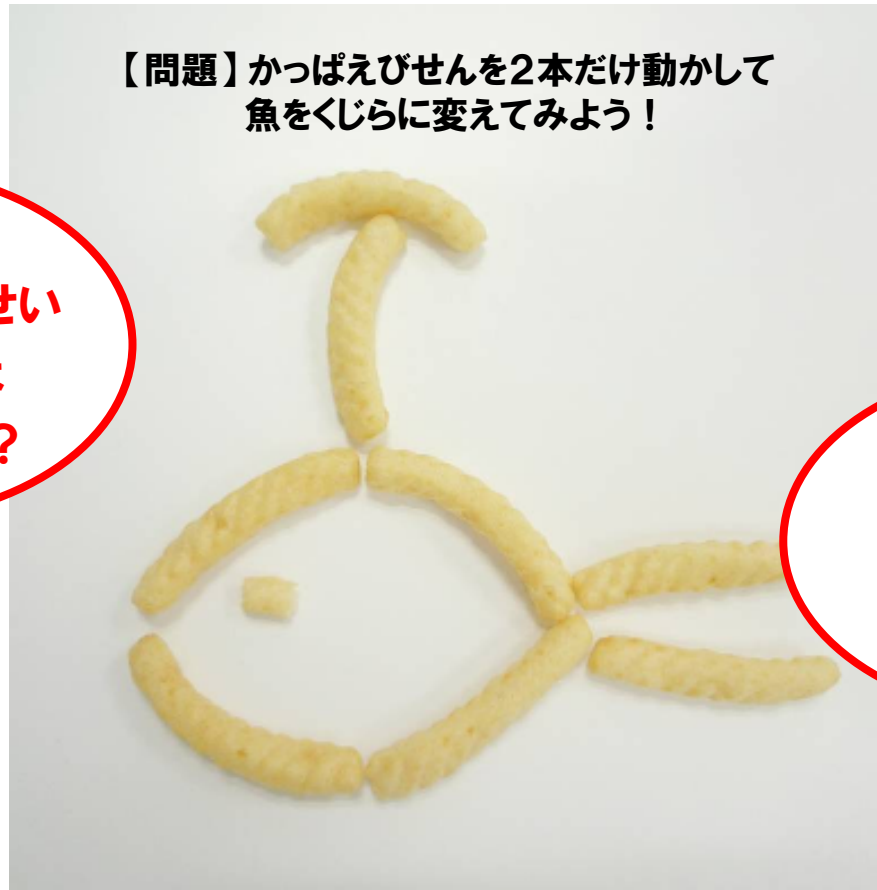
No.3
【問題】2本動かして…
投稿者:たく&お母さん

親子で協力して、豪華賞品を目指そう！

6. キャンペーンのゴール

【問題】 かつぱえびせんを2本だけ動かして
魚をくじらに変えてみよう！

今日の
かつぱえびせんせい
からの問題は
わかるかな～？



できた！！
くじらになったよ、
ママ！！

親子で学びながら、かつぱえびせんを楽しんでもらう
＝かつぱえびせんが、親子の“コミュニケーションツール”に！